

令和3年第3回（9月）上越市議会定例会

総務常任委員会資料【所管事務調査】

地方創生の取組状況について

○地域再生計画 テーマ1 「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」		1
○地域再生計画 テーマ2 「雪室・利雪による地域産業イノベーション」		3
○地域再生計画 テーマ3 「国登録有形文化財小林古径邸を活かした芸術文化拠点の創生 ～小林古径記念美術館増改築事業」		4
○地域再生計画 テーマ4 「地域資源をいかした観光誘客～市民が主役の観光地域づくり～」		5
○地域再生計画 テーマ5 「雪が育んだ100年産業・製造業基盤強化事業」		6
○地域再生計画 テーマ6 「雪室による地域活性化計画」		7
○地域再生計画 テーマ7 「久比岐野改修による雪だるま高原活性化計画」		8
○地域再生計画 テーマ8 「上越市まち・ひと・しごと創生推進計画」		9

■ 背景・目標

- 高田市街地は、高田城築城から約400年の歴史ある城下町である。城下町として古い建物が残り、特徴ある町並みを有している。しかし、地区の人口減少、高齢化、空き家・空き店舗の増加などにより徐々に賑わいが失われてきている。
- そこで、本計画では、多様な事業者や市民活動団体との協働により、現代の生活では不便に感じられる歴史的市街地としての特性による課題を克服して人口減少社会に対応した「街なか居住」を促進するとともに、点在する歴史・文化遺産の活用を通じた「街なか回遊観光」による経済基盤の強化や市内外の交流を促進することで、「住んでみたいまち・訪れてみたいまち」の実現を目指すものとする。

■ 計画の概要

<計画期間>

平成28年度～令和2年度(5年間)

<総事業費>

696,325千円 (R3年繰越事業があるため、未確定)

<事業概要>

○ 町家シェアハウスに関する事業

[シェアハウス大町整備(H28)/シェアハウス大町管理(H29～R2)]

○ 100年映画館のあるまち誘客・回遊強化事業(高田世界館)(H28～R2)

[100年映画館の魅力をいかした広域誘客事業の実施]

○ 高田小町広場整備事業(H30～R1)

○ 百年料亭のあるまち誘客・回遊強化事業補助金(百年料亭宇喜世)

[全国の百年料亭の調査、ネットワークの設立(H28)/活動支援(H29～H30)]

○ 高田の食をいかした経済効果拡大事業補助金(仲町ランチバル)(H28～H30)

○ 旧師団長官舎の保存と活用

[保存活用方策の検討(H30)/実施設計(R1)/改修工事(R2)]

○ 旧今井染物屋の保存と活用

[保存活用方策の検討(H30)/実施設計(R1)/改修工事(R2)]

○ 旧第四銀行高田支店改修事業(H28)

○ 高田小町機能拡充

[駐車場整備(H28、R1～R2)/物販社会実験(H30～R2)]

○ 城下町高田街なかサイン整備事業

[サイン計画策定(H30)/サイン設置(R1～R2)]

○ 歴史文化資産活用推進事業(H28～R2)

[町家活用社会実験/体験コンテンツ調査/町家活用勉強会等]

○ 地方創生推進事業補助金

[民間団体事業への補助(H29～R2)]

○ 商店活性化事業

[消費動向調査・人材育成WS/体験コンテンツ調査・実施(H28～H29)]

○ ビジネスタウン推進事業

[ウェブサイト運営(H28～R2)]

○ 街歩きマップ作成(H28、R1)

○ 城下町高田まち歩きガイドブック等作成(R2)

○ 関東6大学による建築フィールドワーク(H28)

○ 景観まちづくりの促進

[南本町3丁目 住民主体の景観WS/景観色彩ガイドライン作成等(H28～R2)]

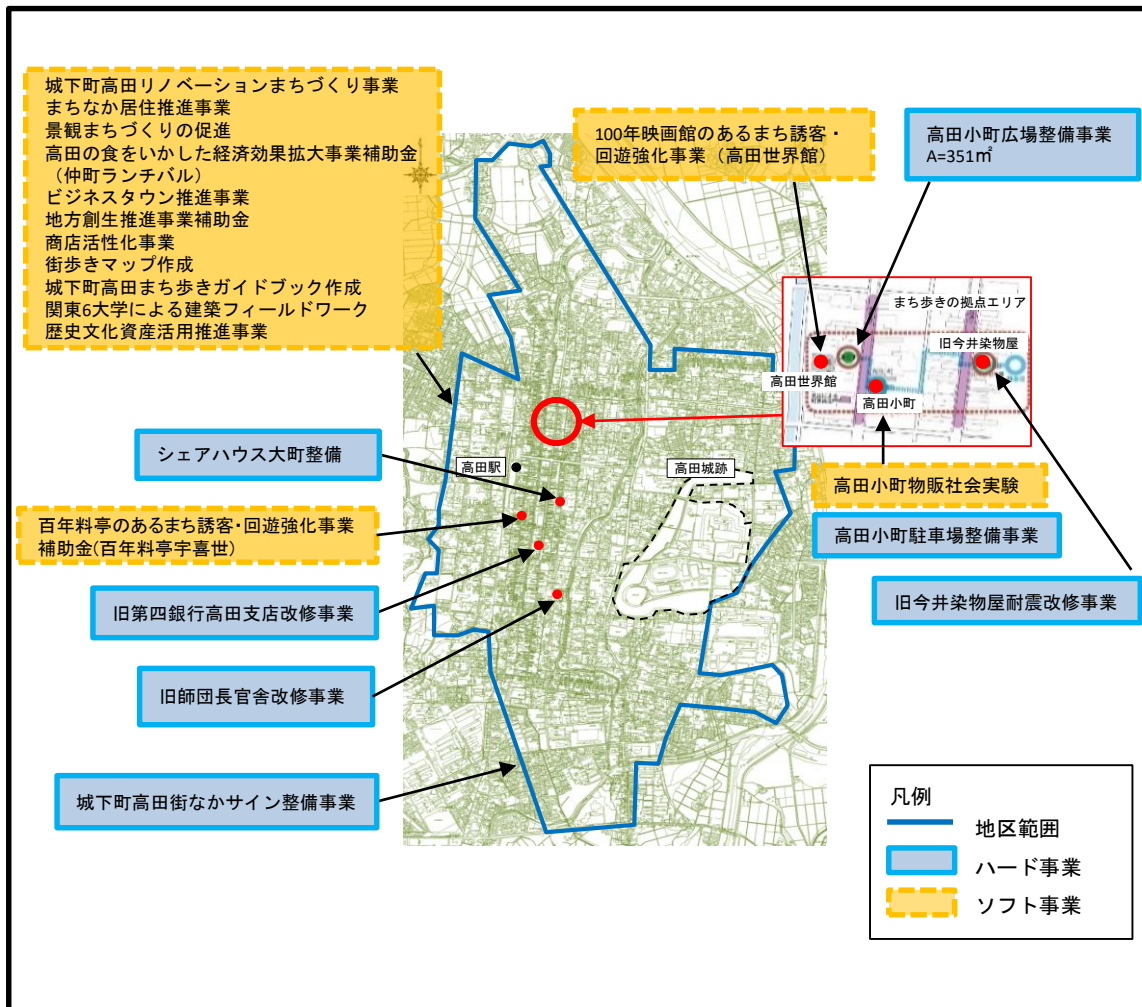
○ まちなか居住推進事業

[まちなか居住推進に向けた検討(H30～R1)/モデル候補地区でのWS(R2)]

○ 城下町高田リノベーションまちづくり事業

[ワークショップ(H30～R2)/町家紹介パンフレット作成(R1)]

■ (参考)主な事業の実施箇所



令和2年度の主な事業 146,461千円

- 旧師団長官舎改修工事等 79,919千円
 - ・施設の保存とともに民間事業者によるレストランとしても活用するための改修工事等を実施
 - ・令和3年4月1日公開を再開
- 旧今井染物屋耐震改修工事等※ 34,659千円
 - ・施設の保存とともにバテンレースを基軸とした地域文化の継承と発信を行う拠点とするための耐震改修工事等を実施
 - ・令和3年4月29日に開館
- 高田小町駐車場整備※ 13,776千円
 - ・大型観光バスの駐車も可能な駐車場を新たに整備(整備面積:698㎡、駐車台数20台)
- 高田街なか回遊サイン整備事業※ 5,254千円
 - ・サイン整備 既存看板43基改修 新規看板39基設置
- 城下町高田リノベーションまちづくり事業 1,980千円
 - ・H30年高田で活動する若者たちによる町家リノベーションユニット「Kinaiya」が発足
 - ・四九朝市でのDIYワークショップの開催(2回、参加者52人)
 - ・「Kinaiyaプロジェクト公開ミーティング」開催(1回、町内会長等 参加者32人)
 - テーマ①Kinaiyaプロジェクト3年間の活動報告
 - テーマ②高田のまちの空き家問題を考える(弁護士からの情報提供、車座トーク)
 - ・SNSを通じた情報発信(31回)
 - ・リノベーションまちづくり事業により創設された団体と、関係町内会や空き家の利活用を促進している他の民間団体等との連携を支援することにより、当該団体が地域で継続して活動できる体制を整えた。
- 城下町高田まち歩きスタンプ等作成委託 346千円
 - ・城下町高田まち歩きガイドブックスタンプラリー用スタンプ及び5館共通入館券の作成等(まち歩きガイドブックは有料頒布として作成したため単費で実施)



<旧師団長官舎>



<旧今井染物屋>



<新規設置サイン>



<城下町高田リノベーションまちづくり事業>



<5館共通入館券>

- まちなか居住推進検討会運営委託等 4,354千円
 - [モデル候補地区においてアドバイザーを交えてワークショップ開催]
- 町家活用PR業務委託 900千円
 - [町家特有の課題や改修方法等に関する町家改修ガイドブックを作成]
- 高田世界館を活用した誘客・回遊強化事業 2,750千円
 - [広域誘客イベントや地域との交流・回遊を図るイベントの開催]
- 歴史文化資産活用推進事業 229千円
 - [町家の活用を促進するための情報収集及び実証実験]
- 城下町高田地方創生推進事業補助金 973千円
- 南本町三丁目景観まちづくり活動支援等 754千円
 - [地域住民が主体に取り組む雁木の塗装の修景活動等を支援]
- ビジネスタウン推進事業 567千円
 - [ウェブサイト「じょうえつ高田・ワーク・ライフ」の運営]

※都市構造再編集集中事業補助金を活用

評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	
高田区の人口の社会減の解消数(H22～H26の平均値△192人/年からの削減数)(単位:人/年)	0人	48人	244人	【目標値を達成】 ・日常の賑わい創出と住環境の向上に資するハード事業とソフト事業を一体的に推進したことにより、まちの魅力が高まり、人口の社会減の抑制につなげることができた。
高田区の街なかの観光客入込数(単位:人/年)	228,971人	428,200人	69,308人	【目標値の達成は5割未満】 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各種イベントが縮小・中止となる中で、人の動きに変化が生じており、観光客が減少した。 ・今後は、感染症対策をしっかりと講じつつ、本事業で整備した文化施設等を新たな拠点として、街なか回遊観光を推進していく。
新たに入居した空き家、空き店舗の数(単位:件/年)	1件	10件	11件	【目標値を達成】 ・空き家・空き店舗への新たな入居が生まれていることを踏まえ、今後は空き家活用の事例やまちの賑わいの良好な変化を積極的に情報発信することで、空き家の更なる利活用を促進していく。 ・城下町高田リノベーションまちづくり事業をきっかけに、2件の空き店舗がリノベーションされ、開業に至っている。

■ 背景・目的

- 当市は日本有数の豪雪地帯として、雪の利活用の技術・文化を育んできた。当市と雪だるま財団において、雪室で食品を貯蔵すると、甘みや食味が増すとされていた科学的な効能の検証に成功したことを受け、平成27年12月に雪室で貯蔵した雪室商品の高付加価値化と地域ブランド化を推進する組織「雪室推進プロジェクト」が設立された。
- 本計画では、雪室商品の高付加価値化と地域ブランド化の推進に向けて、新たな雪室商品の開発促進や首都圏での市場開拓、商品のPRを行うことで、雪国文化を活用した産業振興や観光誘客を目指すものとする。

■ 計画の概要

- ＜計画期間＞
平成28年度～令和2年度(5年間)
交付金交付期間：平成28年度～平成30年度(3年間)
- ＜事業費＞
116,472千円(H28年度～H30年度)
- ＜事業概要＞
- 新商品の開発(H28～R2)
 - 雪下・雪室野菜の販売の拡大
 - ・イベントへの出店(H28～R2)
 - ・ホームページやSNSによる情報発信(H28～R2)
 - 雪室の整備
 - ・観光対応型雪室施設改修(H29)
※火災により焼失したため事業中止
(平成29年に地方創生拠点整備交付金により実施)
 - 学習環境づくり
 - ・雪室や雪利活用を学ぶ環境講座の開催(H29～H30)

■ 令和2年度の事業

雪室推進プロジェクトやえちご上越農業協同組合、各事業者が主体的に以下の取組を実施した。

- ①雪室商品の開発促進
 - ・新たに1商品の開発、販売
- ②雪下・雪室野菜の生産・販売の拡大
 - ・えちごキめき鉄道イベント列車(7月23日～25日に運行)での雪むろ芳醇和牛や雪室野菜、雪の香プリンの提供、乗客へのパンフレット配布
 - ・「上越妙高駅かまぶたガーデンテラス」や「灯の回廊」に出店
 - ・日本スキー発祥110周年記念大会レルヒカップにおいて協賛品を提供
 - ・雪下・雪室野菜の理解を深めるための研修会の開催
 - ・有効な貯蔵方法と貯蔵効果を検証する実験の実施



＜新商品 雪室野菜入り飲むかまぼこ「かまナイス」＞



＜上越妙高駅かまぶたガーデンテラスに出店した際の様子＞

評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前 (平成27年度)	目標値 (令和2年度)	実績値	
雪室を利用した商品販売や集客を行う市内直売所・レストランの年間入込客数(単位:人) 〔直売所:雪だるま物産館〕 〔レストラン:あるんのだ〕	99,600人	228,000人	79,000人	【目標値の達成は5割未満】 ・直売所とレストランは、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、特に大型連休の5月や豪雪に見舞われた1月に前年度と比較して入込客数が大きく減少した。 ・さらにレストランでは、同感染症の拡大を防止するため、令和2年3月から5月までの間、休業しており、このことも大きく影響している。 ・今後は、市内直売所の敷地内に建設した雪室貯蔵施設(ユキノハコ)の見学者数の増加に向けた取組を行うとともに、レストランでは、ウィズコロナ時代の新たな食事の提供方法の検討やSNSを通じて誘客促進に向けた情報発信を行う。

■ 目的・背景

- 小林古径の作品は、以前、上越市立総合博物館と同館から離れた小林古径邸にそれぞれ展示されており、一体性に欠ける状況にあった。
- このため、本計画では小林古径邸の敷地内に小林古径記念美術館を増改築して展示場所を1か所にまとめることで、集客力と利便性の向上を図るとともに、本市の芸術文化の魅力を発信することにより交流人口の拡大を目指すものとする。

■ 計画の概要

<計画期間>

平成30年度～令和2年度（3年間）

※事業期間はH27～R2（5年間）

<事業費>

547,242千円（H27～R2）

<事業概要>

小林古径邸敷地内に、展示室、一時保管庫、ワークショップ等を行う多目的室、ロビー、トイレ等の美術館として必要な機能を整備する。

- 基本設計、地質調査（H27～H28）
- 実施設計（H29）
- 増改築工事（H30、R1）
- 外構工事（R2）

■ 令和2年度の事業 48,326千円

令和2年度は、令和元年度の本体工事に引き続き外構工事を実施した。これにより本事業は完了し、10月に開館した。

- 外構工事 3,630千円
- 造園工事 8,305千円
- 石碑移設委託料 2,915千円
- 備品購入費 28,543千円 など



<外構工事完了状況>



<開館記念式典>

■ （参考）企業版ふるさと納税による寄附

計画期間の3年間で11社から総額21,000千円の寄附金を受領した。

年度	企業名	寄附金額
H30	第一工業製薬株式会社	15,600千円
	第一印刷株式会社	
	非公表	
R1	太陽誘電株式会社	5,400千円
	信越化学工業株式会社	
	株式会社阿部建設	
	宮本忠長建築設計事務所	
	株式会社植木組	
	株式会社加賀田組	
	株式会社清水光芸社	
	東日本電信電話株式会社新潟支店	
合 計		21,000千円

評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前 (平成29年度)	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	
高田城址公園内施設の利用者数(上越市立歴史博物館・小林古径記念美術館・高田城三重櫓・小川未明文学館の利用者数合計)	96,000人	120,000人	83,279人	【目標値の5割以上達成】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標値を達成できなかった。 ・令和2年10月に小林古径記念美術館の増改築が完了したところであり、今後は当該施設における展覧会等の開催について積極的に情報発信を行い、利用者の増加を図っていく。

■ 背景・目標

- 市内には春日山城や高田城など、多種多様な地域資源が多く存在するが、合併により広域となった市域ゆえ地域間の連携が弱く、点在する魅力が繋がっていないなど、地域全体のポテンシャルの高さをいかしきれていない状況にある。
- そこで、本計画では、市民を含む様々な主体が観光の担い手となり、地区間の連携の意識を醸成しながら地域一丸となった観光地域づくりを行うことで、日常的な観光誘客の基礎となる環境を整えるとともに、様々な地域資源の付加価値を高めることで、観光入込客や観光消費の増加を図り、地域活性化を目指すものとする。

■ 計画の概要

<計画期間>

令和2年度～令和4年度（3年間）

<総事業費>

93,516千円

<事業概要>

- 観光地域づくり実践「未来塾」開催(R2～R4)
- 観光データの収集(R2～R4)
- SNSを活用した市民による情報発信の促進(R2～R3)
- 地域資源連携交流促進事業(R2～R4)
- 「なおえつ うみまちアート」事業(R3)

■ 令和2年度の事業 11,199千円

① 観光地域づくり実践「未来塾」開催 52千円

- ・観光地域づくり実践未来塾(以下、未来塾)の講座をオンラインで2回開催した
- ・再生回数864回（第1回346回、第2回518回 R3.8.31時点）
- ・参加者：宿泊業、飲食業、土産物業、観光協会職員 など

② 観光データの収集 616千円

③ SNSを活用した市民による情報発信の促進 281千円

- ・「#上越もよう」フォトコンテストを夏秋冬の3回開催
- ・応募総数1,763件(夏:608件、秋:474件、冬:681件)
- ・上越観光Naviへ掲載するなど観光PR素材として活用

④ 地域資源連携交流促進事業 10,250千円

- ・歴史的旧家5邸の連携事業(ホームページ・パンフレットの作成、モニターツアーの実施)
- ・林富永邸(三和区)の駐車場整備事業に対して補助金を交付



<「#上越もよう」フォトコンテスト(夏)グランプリ作品> <上越名家ネットワークパンフレット(表紙)>

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和2年度)	実績値	目標値 (令和4年度)	
休日1日当たりの市民以外の市内滞在人口(年間平均)	23,754人 (平成30年度の実績を基に算出した令和元年度の見込値)	24,942人	【参考】 22,599人 (令和元年度)	28,054人	※令和2年度の実績値は10月下旬頃に公表予定 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各種イベントが縮小・中止となる中で、人の動きに変化が生じており、観光客は減少している。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、社会情勢の変化を捉えたイベントを実施していく。ただし、目標値の達成に向け、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。
歴史的旧家の連携誘客事業の年間来場者数	2,483人 (令和元年度)	2,731人	956人 (令和2年度)	4,073人	【目標値の達成は5割未満】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年2回の開催を予定していた一斉公開について、春の一斉公開を中止したほか、秋の一斉公開も、来場者が例年を下回った。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、春・秋の一斉公開のほか、夏の一斉公開を新たに開催し、目標値の達成を目指していく。ただし、目標値の達成に向け、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。
上越観光Naviの総ページビュー数	1,009,687件 (平成30年度)	1,200,000件	695,167件 (令和2年度)	1,400,000件	【目標値の5割以上達成】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、高田城址公園観桜会や謙信公祭などの観光イベントが中止・縮小となり、目標値を達成できなかった。 ・今年度は、コロナ禍における観光ニーズの変化を捉え、季節に応じた観光資源や旬の情報などを継続的に情報発信することで目標値の達成を目指していく。ただし、目標値の達成に向け、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。

■ 背景・目標

- 市内の製造業の従業者数は、卸売業・小売業に次いで2番目に多く、中小企業での勤務が多くを占めている。このことから、製造業における中小企業の安定化や成長促進が雇用の維持・拡大につながっていく。
- そこで、本計画では、地域経済を牽引し、高い経済波及効果をもたらすことが期待される地域の中核企業に対して集中的な支援を行うことで、安定的で魅力ある雇用の場の創出を図ることにより、若者の就職による人口流出のダム機能を果たすとともに、稼げる企業の増加を通じて、持続可能な経済社会の構築を目指す。

■ 計画の概要

- <計画期間>
令和2年度～令和4年度（3年間）
- <事業費>
114,830千円
- <事業概要>
 - 提案型モデル支援事業(R2～R4)
 - 地域中核企業認知度向上事業（R2～R4）
 - 企業支援専門員の雇用（R2～R4）
 - 生産性向上支援事業(R3～R4)
 - 首都圏大学等と市内企業情報交換会（R3～R4）

■ 令和2年度の事業 18,258千円

- ① 提案型モデル支援事業 17,470千円
 - ・ 地域中核企業が行う新製品・新技術の開発に対して、補助金を交付
交付先：三星工業株式会社
事業内容：バクテリアセルロース製品の開発と事業化
- ② 地域中核企業認知度向上事業 6千円
 - ・ 市内企業4社の製造現場を2日間で回る見学会を開催
・ 参加者：市内の高等学校の進路指導担当者（上越地域の高等学校18校のうち11校、延べ15名が参加）
- ③ 企業支援専門員の雇用 782千円
 - ・ 市内企業を訪問して市の支援制度のPRを実施



<工場見学の様子>

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和2年度)	実績値	目標値 (令和4年度)	
当市製造業全体での付加価値額	248,650百万円 (平成30年度)	253,623百万円	254,061百万円 (令和元年度)	263,869百万円	【目標値を達成】 ※令和2年度の実績値は11月頃公表予定 近年、当市製造業全体での付加価値額は増加傾向にあり、引き続き製造業全体での付加価値額の増加に向けた取組を進めていく。
当市製造業の常用従業者数	16,686人 (平成30年度)	16,953人	17,295人 (令和元年度)	17,500人	【目標値を達成】 ※令和2年度の実績値は11月頃公表予定 近年、当市製造業の常用従業者数は増加傾向にあり、引き続き製造業の常用従業者数の増加に向けた取組を進めていく。
提案型モデル支援事業で支援した企業の付加価値額	100% (支援事業者の初年度(申請時)を基準)	103%	125% (各支援事業者の事業終了の1年後)	109%	【目標値を達成】 ・ 事業終了直後のため、当該事業の成果は実績値に反映されていないが、コロナ禍における原材料費の減などの要因により、支援企業の営業利益が増加したことで、目標値を達成した。 ・ 今年度は、予算額を増額した上で、支援を継続的に実施することで、新製品・新技術の開発をより強力に支援する。
地域中核企業認知度向上事業への参加者数	0人	20人	15人 (令和2年度)	60人	【目標値の7割以上達成】 ・ 地域中核企業認知度向上事業(市内の製造業者を訪問する事業)について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、参加者数が減少した。 ・ 今年度は当初対象としていた高校生や保護者に加えて、昨年度の対象者である教職員も引き続き対象とすることで、目標値の達成を目指す。

■ 背景・目標

- 中山間地域では、農家の高齢化に伴う担い手不足のほか、農地が不整形であることや小規模であることなどの要因により、生産性が低くなるケースが多いことから、農産物の付加価値を高めるなどの取組によって安定的な収入確保と農業の担い手確保が必要となる。
- そこで、本計画では、道の駅「雪のふるさとやすづか」地内に雪室を整備し、雪中貯蔵を通じて農産物の付加価値の向上を図るとともに、直売やインターネット販売などの多様な手段によって販路を確保し、収入の向上を目指す。さらに、見学できる雪室とすることにより道の駅の魅力を高めて新たな交流やにぎわいの創出を図り、地域の活性化につなげるものとする。

■ 計画の概要

＜計画期間＞

令和2年度～令和6年度（5年間）

＜事業費＞

108,128千円

＜事業概要＞

○ 観光対応型「雪中貯蔵施設」整備（R2）

（関連事業）

○ 中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業（R2～R6）

○ 積極的な地場農産物の販売促進事業（R2～R6）

○ 越後田舎体験事業（R2～R6）

＜施設概要＞

○ 所在地：上越市安塚区樽田158番地

（道の駅 雪のふるさとやすづか内）

○ 施設名称：ユキノハコ（雪中貯蔵施設）

○ 構造等：木造2階

○ 建築面積：356.15㎡

○ 延床面積：432.31㎡

（1階／346.14㎡・2階／86.17㎡）

○ 主な施設：貯蔵庫／75㎡ 貯雪室／76㎡

■ 令和2年度の事業 108,128千円

雪中貯蔵施設を整備し、令和3年3月27日にオープンした。

○ 観光対応型「雪中貯蔵施設」整備

・ 雪中貯蔵施設整備 102,546千円 [地方創生拠点整備交付金]

・ 備品購入費 5,582千円 [地方創生推進交付金]

【関連事業】

○ 中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業

・ 棚田米販売戦略セミナー開催

・ 中山間地域の農業者等が行う販売促進活動の支援

○ 積極的な地場農産物の販売促進事業

・ 上越産品に特化したインターネットショッピングモールを活用した販売促進など

○ 越後田舎体験事業

・ 教育旅行新規団体の開拓に向けた商談会への参加

・ 越後田舎体験推進協議会負担金など



＜施設外観＞



＜「ユキノハコ」ロゴデザイン＞



＜雁木の回廊・パネル展示＞



＜見学ブリッジ＞



＜利用のご案内チラシ＞

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	
貯蔵した農産物の販売額	0千円 (令和元年度)	0千円	—	5,513千円	※令和3年3月27日から施設の利用を開始したため、目標値・実績値はなし。 ・ 今後は、市内の農業者を対象にした説明会で利用を呼び掛けることなどにより、施設の利用実績及び貯蔵した農産物の販売額の増加につなげていく。
雪中貯蔵施設の見学者数	0人 (令和元年度)	0人	—	6,000人	※令和3年3月27日から施設の利用を開始したため、目標値・実績値はなし。 ・ 今後は、市のHPや広報、SNSを活用した情報発信を行うことで施設見学者の増加につなげていく。ただし、目標値の達成に向け、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される。
道の駅「雪のふるさとやすづか」の年間入込客数	98,405人 (令和元年度)	98,405人	64,566人	115,405人	【目標値の5割以上達成】 ・ 直売所では、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、特に大型連休のある5月・8月や豪雪に見舞われた1月に入込客数が大きく減少した。 ・ 今後は、雪だるま産産館、樽田そば処、ユキノハコ3施設の相乗効果の発揮と周辺観光施設との連携により、目標値の達成を目指す、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。

■ 背景・目標

- 安塚区の雪だるま高原一帯には、スキー場「キューピットバレイ」、宿泊施設「久比岐野」、日帰り温浴施設「雪の湯」があり、冬期間を主力とした通年観光拠点となっていた。しかし、年々利用者数が減少していることに加えて、日帰り温浴施設「雪の湯」については、源泉の水位の低下や施設の老朽化が進んでいた。
- そこで、本計画では、宿泊施設「久比岐野」を日帰り温浴施設としても活用できるよう改修することにより、「雪の湯」に代わる機能を維持しつつ、日帰り客を対象とした飲食サービスや物販サービスの提供を行い、観光産業の振興と雇用の創出を目指すものである。

■ 計画の概要

- <計画期間>
令和2年度～令和6年度（5年間）
- <事業費>
78,298千円
- <事業概要>
○ 温泉の宿「久比岐野」改修整備（R2）
（関連事業）
○ 観光施設等管理事業（R2～R6）
- <施設概要>
○ 所在地：上越市安塚区須川2352番地
○ 施設名称：温泉の宿 久比岐野
○ 構造等：2階建て（1階RC造、2階木造）
○ 改修を行った建築面積：115.94㎡（うち増築分33.12㎡）
○ 改修を行った延床面積：157.34㎡
（1階41.4㎡、2階115.94㎡）

	改修前 延べ床面積	改修後 延べ床面積
浴室	33.12㎡	66.25㎡
うち浴槽	13.95㎡	33.12㎡
脱衣室	33.12㎡	49.69㎡

■ 令和2年度の事業 78,298千円

- 令和2年度は、宿泊施設の浴室を日帰り温浴施設として改修し、令和2年12月13日から供用を開始した。
- 温泉の宿「久比岐野」の改修
 - ・ 温泉の宿「久比岐野」改修整備 72,028千円 [地方創生拠点整備交付金]
 - ・ 源泉湯ポンプ購入 6,270千円 [地方創生推進交付金]
- （関連事業）
- 観光施設等管理事業
 - ・ 雪だるま高原施設の指定管理委託料
 - ・ 指定管理者：株式会社 スマイルリゾート
 - ・ 指定管理の協定期間：令和2年7月1日～令和4年3月31日



<浴槽>



<浴室>



<脱衣室>



<外観>

評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	
「久比岐野」の日帰り利用者数	0人 (令和元年度)	1,000人 (R2.12～R3.3)	3,645人 (R2.12～R3.3)	18,000人	【目標値を達成】 ・ 令和2年度の目標値を達成したが、令和6年度の目標値の達成に向けて、さらに利用者数を増加させる必要がある。 ・ 割引券の配布やSNSを活用した情報発信を引き続き行うとともに、利用者の更なる増加に向け、日中における飲食サービスの提供を検討する。
「久比岐野」の日中飲食サービス及び物販の売上額	0人 (令和元年度)	1,000千円 (R2.12～R3.3)	139千円 (R2.12～R3.3)	9,000千円	【目標値の達成は5割未満】 ・ 目標値より多くの利用者が来場したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が見込めない日中の飲食サービスの提供を行わず、物販のみで運営を開始したため、目標値を達成できなかった。 ・ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、日中における飲食サービスの提供開始を検討するとともに、利用者のニーズを把握した物販サービスを行うことで目標の達成を目指す。
雪だるま高原の来場者数	118,900人 (令和元年度)	119,900人	57,282人	123,900人	【目標値の達成は5割未満】 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたほか、多くの来場者が見込める1月に豪雪に見舞われたことが大きな要因となり、目標値を達成できなかった。 ・ 今後は、コロナ禍における観光ニーズの変化を見極めながら事業を進めることで、目標値の達成を目指す。

■ 背景・目標

- 企業版ふるさと納税は、これまで、地域再生計画に登載された特定の事業のみが寄附対象であったが、令和2年度の制度改正に伴い、各自治体が策定する地方版総合戦略に基づく包括的な地域再生計画を作成することにより、地方版総合戦略に位置付けた地方創生に資する全ての事業を寄附対象とすることが可能になった。また、法人関係税の税額控除割合が、最大約6割から約9割に引き上げられた。
- こうした国の制度改正を踏まえ、市では第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第2期総合戦略」という。)に基づく包括的な地域再生計画を作成して制度を積極的に活用することで、市の財源を確保しつつ、第2期総合戦略に位置付けた事業を推進していく。

■ 計画の概要

＜計画期間＞
令和2年度～令和6年度(5年間)

＜寄附対象事業＞
第2期総合戦略に基づく事業

- ・しごとづくり分野 [104事業]
- ・結婚・出産・子育て分野 [115事業]
- ・まちの活性化分野 [198事業]
- ・UIターンとまちの拠点性・担い手づくり分野 [33事業]

■ 令和2年度の成果

＜企業名＞
信金中央金庫(東京都中央区)

＜寄附を受けた事業＞
雪が育んだ100年産業・製造業基盤強化事業

＜寄附金額＞
10,000千円



評価指標 (KPI)					評価
指標	事業開始前	目標値 (令和2年度)	実績値	目標値 (令和6年度)	
34歳以下の就職率	39.8% (平成30年度)	42.2%	33.5% (令和2年度)	45.7%	【目標値の7割以上達成】 ・新規求職数の減少(前年比89.8%)と就職数の減少(前年比80.9%)により目標値を達成できなかった。ただし、県平均(31.0%)と比較すると上回っている状況にある。 ・引き続き関係機関と連携し、IT企業等の誘致や地元企業の雇用継続支援、若者の市内企業の関心を高めるための取組を進めていく。
合計特殊出生率	1.51 (平成30年)	1.68	【参考】 1.54 (令和元年)	1.68	※令和2年度の実績値は今後公表予定 ・引き続き、結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくりを推進する。
休日滞在人口率	1.04 (平成30年)	1.04	1.02 (令和2年)	1.04	【目標値の7割以上達成】 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各種イベントが縮小・中止となる中、人の動きに変化が生じており、観光客は減少している。 ・今年度は、それらの影響や変化を捉える中で、市担当部署や関係者との情報共有・連携を図りながら、各種の取組を推進する。
転入者数	4,246人 (平成26年～平成30年の平均値)	4,246人	4,221人 (令和2年)	4,246人	【目標値の7割以上達成】 ・令和2年度の転入者は、県内が1,823人(前年度比75人増)、県外が2,373人(同104人減)、その他が25人(同8人減)となっている。目標値を達成できなかった要因としては、県外からの転入者の減少が大きい。 ・当市においては、10代から20代前半にかけて社会減が大きく進行していることを踏まえ、高校生の頃から地域に愛着を持ってもらい、将来的なUターンにつながるような取組を推進するとともに、IT企業等の誘致を行う。 ・また、移住定住を支援する制度の活用やインターネット広告などを活用した情報発信を行うことで、県外からの移住者の増加を図る。
雇用の場が整っていると感じる20代・30代の市民の割合	42.2% (令和元年度)	42.2%	—	42.2%	※実績値は、次期総合戦略策定時に実施予定の市民アンケートにより把握予定
出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	70.0% (令和元年度)	70%	—	70.0%	
上越市を暮らしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	77.6% (令和元年度)	77.6%	—	77.6%	
今後も上越市に住みたいと感じる20代・30代の市民の割合	60.5% (令和元年度)	60.5%	—	60.5%	

※本計画においては、国が示す作成例にない、第2期総合戦略の各政策分野における数値目標をKPIとして設定している。